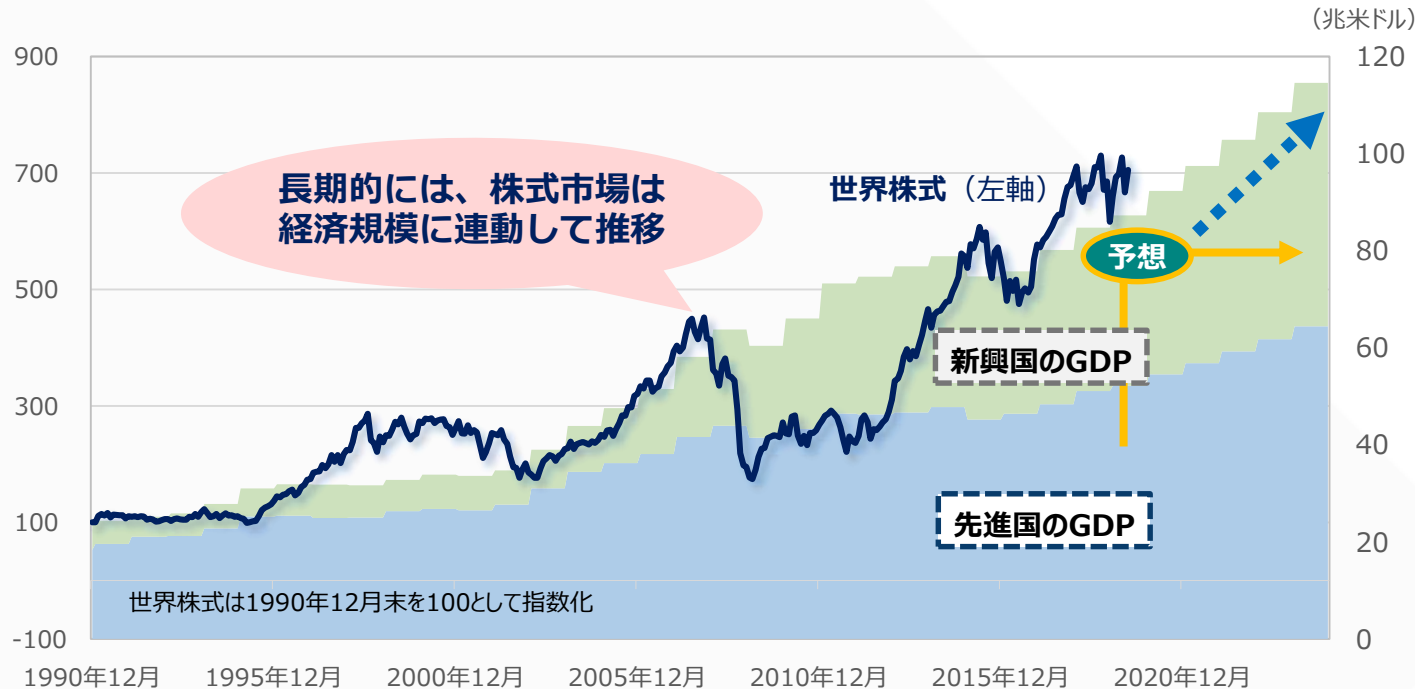


新興国資産の追加で、投資効果の改善が期待できる！

今後も世界経済の成長とともに、株式市場の拡大が見込まれる

世界の国内総生産（GDP）と株価の推移（1990年12月末～2019年6月末）



世界経済に占める
新興国の割合が
増えていますね！



※指数（配当込み、円ベース）：MSCI ACワールド・インデックス

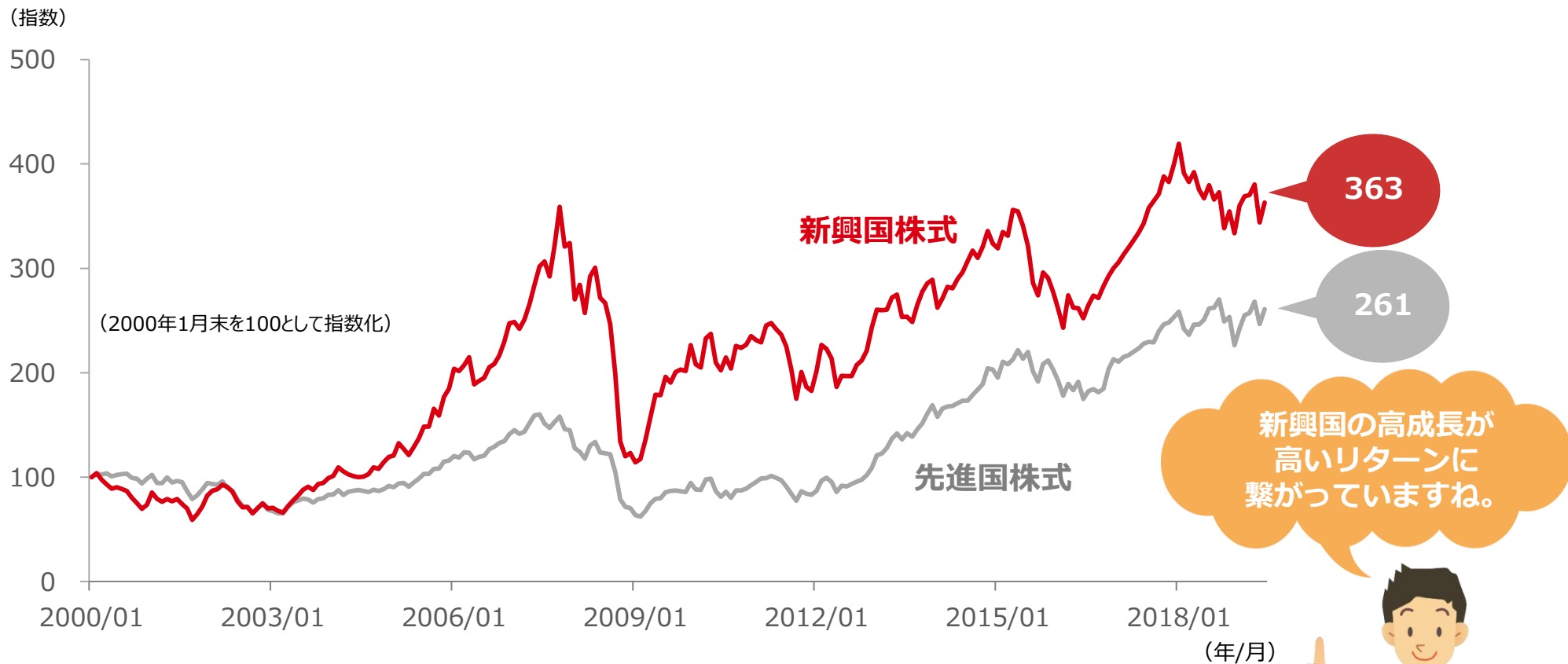
※世界のGDP（名目）は1990年～2024年（年次）、2018年以降は予測値。

出所：リフィニティブ、IMF World Economic Outlook (April 2019) のデータをもとにHSBC投信が作成

株式市場の推移

長期的には高成長が株式市場の上昇の源泉

先進国と新興国の株式市場の推移 (2000年1月末～2019年6月末)



先進国株式：MSCIワールド・インデックス、新興国株式：MSCI Emerging Markets・インデックス (円ベース)

出所：リフィニティブのデータをもとにHSBC投信が作成

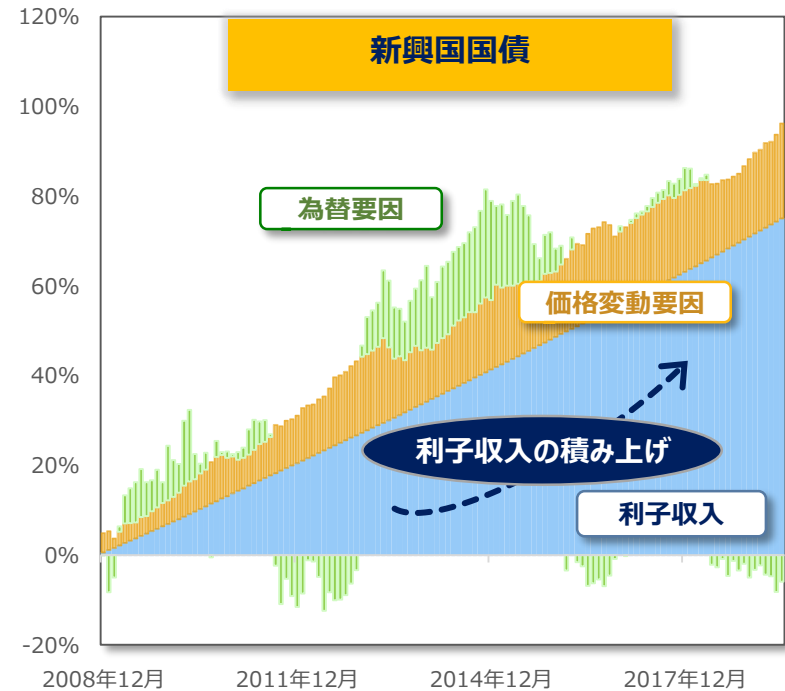
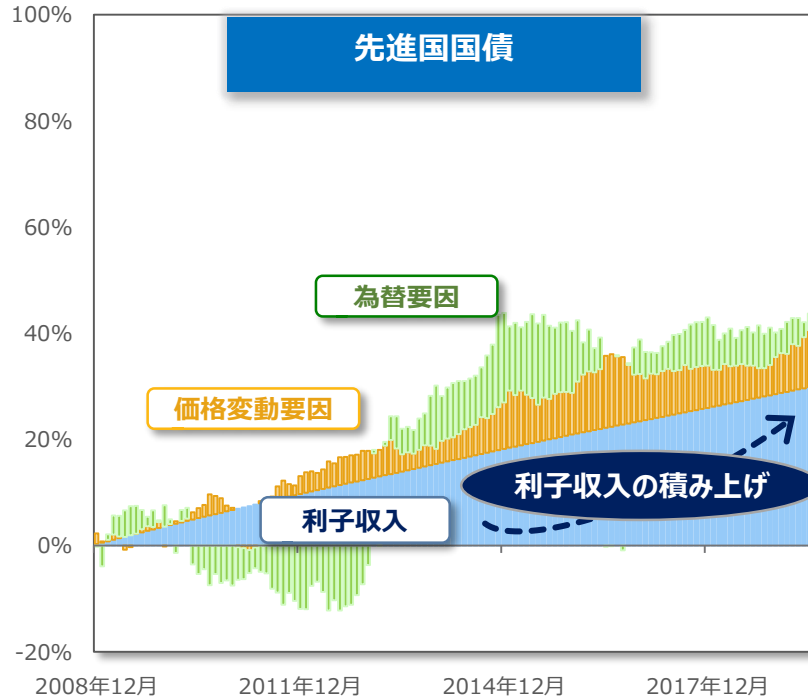
当資料の「留意点」については、巻末をご覧ください。



長期投資での利子収入の効果

投資期間が長期になるほど安定的な投資成果に

国債リターンの要因分析（2008年12月末～2019年6月末）



確実に積みあがる
利子収入が味方ですね。



※各資産クラスの指数（配当込み、円ベース、月次）：ブルームバーグ・バークレーズ・グローバル総合国債指数（先進国国債）、ブルームバーグ・バークレーズ現地通貨建新興国債券指数（新興国国債）

出所：リフィニティブ、バークレーズのデータをもとにHSBC投信が作成

当資料の「留意点」については、巻末をご覧ください。

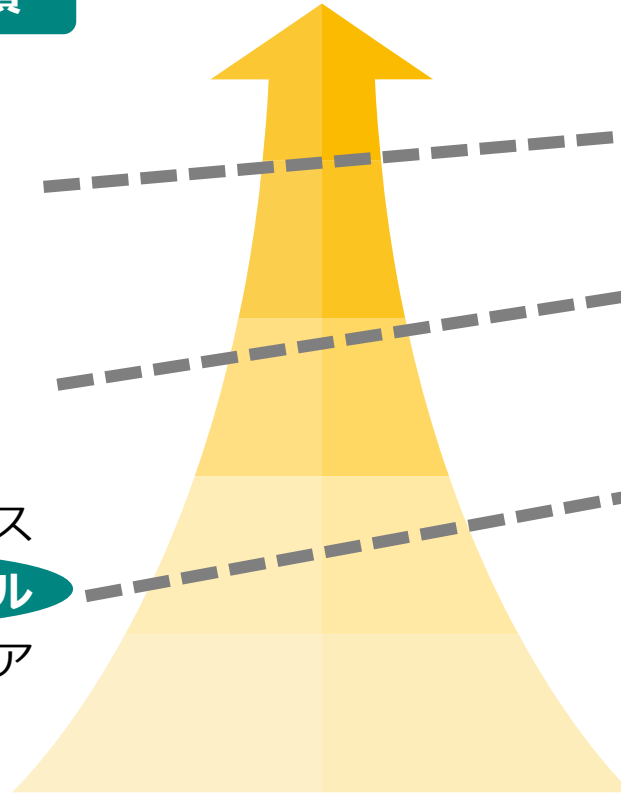
2050年の世界の経済規模

中国、インドをはじめ多くの新興国がトップ10入り

経済規模～名目GDPの順位

2017年実績

- 1位 米国
- 2位 中国
- 3位 日本
- 4位 ドイツ
- 5位 インド
- 6位 英国
- 7位 フランス
- 8位 ブラジル
- 9位 イタリア
- 10位 カナダ



2050年予想

- 1位 中国
- 2位 米国
- 3位 インド
- 4位 日本
- 5位 インドネシア
- 6位 ブラジル
- 7位 メキシコ
- 8位 英国
- 9位 ロシア
- 10位 ドイツ

2050年には新興国が世界経済をけん引していくのですね。

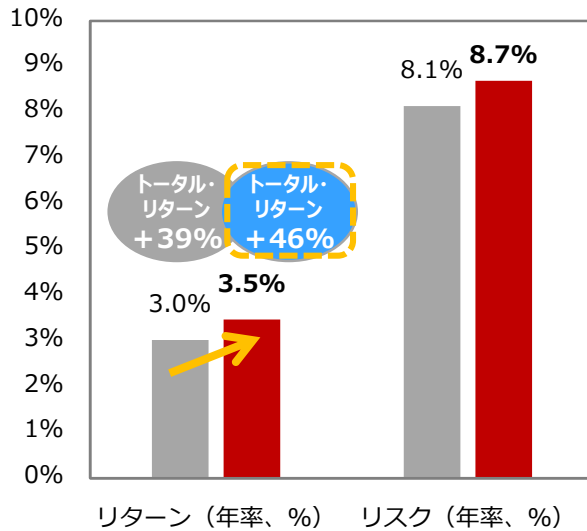


出所：IMF World Economic Outlook Database (April 2019)、OECDのデータをもとにHSBC投信が作成

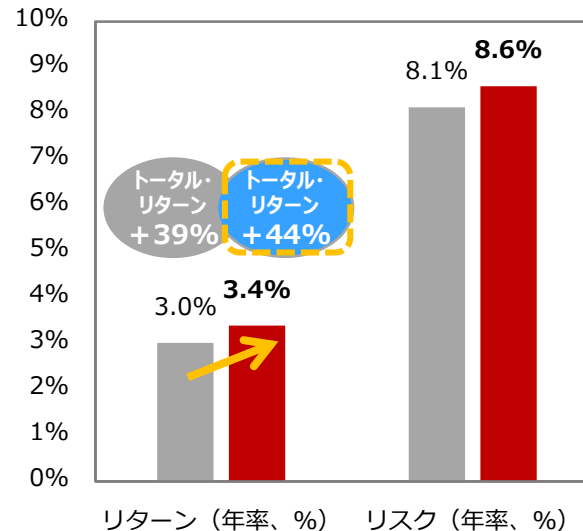
当資料の「留意点」については、巻末をご覧ください。

世界債券と新興国債券との組み合わせ リスクはほぼ同水準ながら、リターンは改善

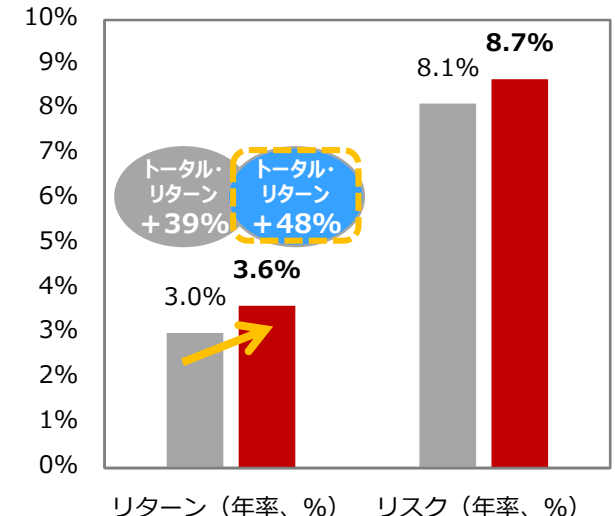
インド国債との組み合わせ



ブラジル国債との組み合わせ



インドネシア国債との組み合わせ



■ 世界債券

■ インド国債を20%、世界債券を80%で組み合わせたポートフォリオ

■ 世界債券

■ ブラジル国債を10%、世界債券を90%で組み合わせたポートフォリオ

■ 世界債券

■ インドネシア国債を10%、世界債券を90%で組み合わせたポートフォリオ

※各資産クラスの指数（配当込み、円ベース、月次）：ブルームバーグ・バークレーズ・グローバル総合指数（世界債券）、BofA Merrill Lynch・インド国債インデックス(インド国債)、BofA Merrill Lynch・ブラジル国債インデックス(ブラジル国債)、BofA Merrill Lynch・インドネシア国債インデックス(インドネシア国債)

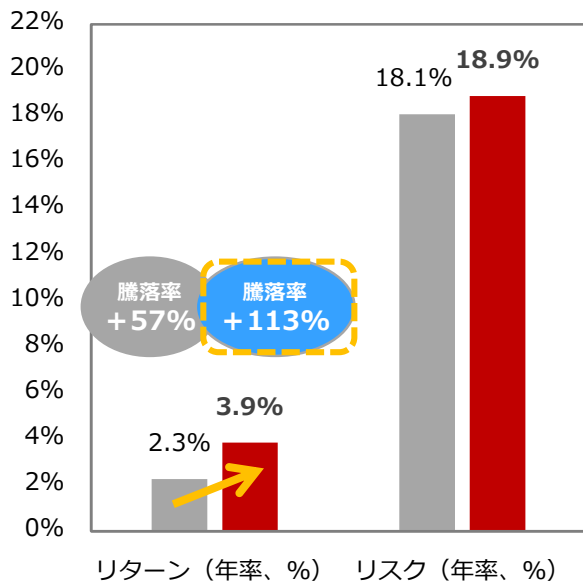
※計測期間：2008年6月末～2019年6月末

出所：リフィニティブ、ブルームバーグのデータをもとにHSBC投信が作成

当資料の「留意点」については、巻末をご覧ください。

先進国株式と新興国株式との組み合わせ リスクはほぼ同水準ながら、リターンは向上

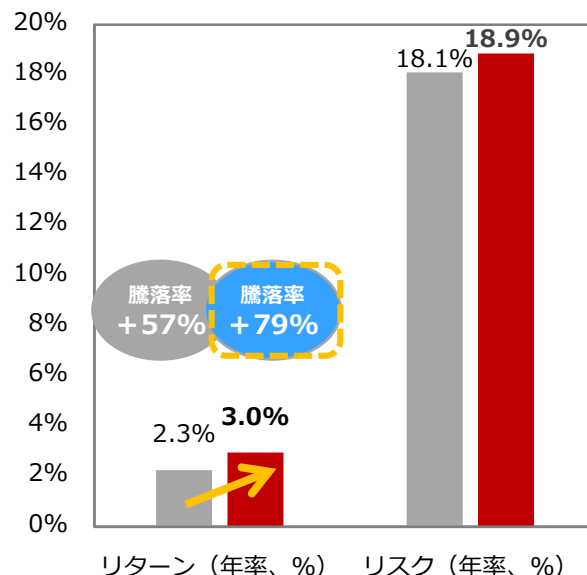
インド株式との組み合わせ



■ 先進国株式

■ インド株式を20%、先進国株式を80%で組み合わせたポートフォリオ

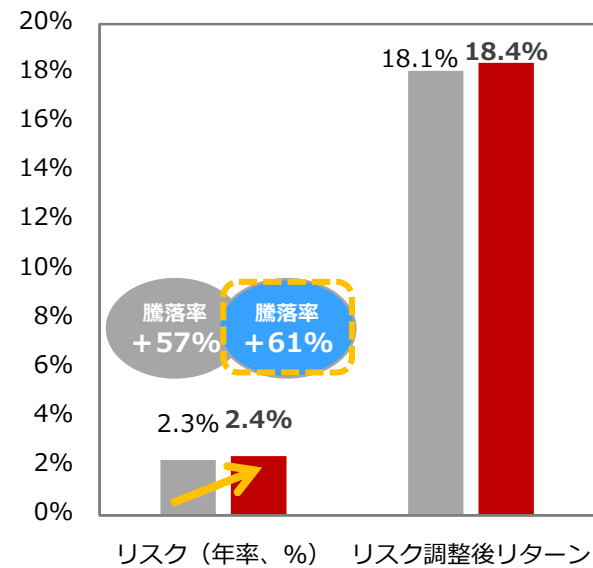
ブラジル株式との組み合わせ



■ 先進国株式

■ ブラジル株式を10%、先進国株式を90%で組み合わせたポートフォリオ

中国株式との組み合わせ



■ 先進国株式

■ 中国株式を10%、先進国株式を90%で組み合わせたポートフォリオ

※各資産クラスの指数 (円ベース、月次) : MSCI ワールド・インデックス (先進国株式)、MSCI インディア・インデックス (インド株式)、MSCI ブラジル・インデックス (ブラジル株式)、MSCI チャイナ・インデックス (中国株式)
 ※計測期間および騰落率の期間: 1999年6月末~2019年6月末
 出所: リフィニティブ、ブルームバーグのデータをもとにHSBC投信が作成

当資料の「留意点」については、巻末をご覧ください。

投資信託に係わるリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としており、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動し損失が生じる可能性があります。従いまして、投資元本が保証されているものではありません。投資信託は、預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書（交付目論見書）」および「契約締結前交付書面（目論見書補完書面等）」を販売会社からお受け取りの上、十分にその内容をご確認頂きご自身でご判断ください。

投資信託に係わる費用について

購入時に直接ご負担いただく費用	購入時手数料 上限3.78%（税込）
換金時に直接ご負担いただく費用	信託財産留保額 上限0.5%
投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用	運用管理費用（信託報酬） 上限年2.16%（税込）
その他費用	上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。 「投資信託説明書（交付目論見書）」、「契約締結前交付書面（目論見書補完書面等）」等でご確認ください。

※上記に記載のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

※費用の料率につきましては、H S B C投信株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託に係るリスクや費用はそれぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、かならず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、H S B C投信株式会社（以下、当社）が投資者の皆さまへの情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品の売買を推奨・勧誘するものではありません。
- 当資料は信頼に足ると判断した情報に基づき作成していますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。
- 当資料の記載内容等は作成時点のものであり、今後変更されることがあります。
- 当社は、当資料に含まれている情報について更新する義務を一切負いません。

H S B C投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第308号

加入協会 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/日本証券業協会



ホームページ

www.assetmanagement.hsbc.com/jp



電話番号 03-3548-5690

（受付時間は営業日の午前9時～午後5時）